

2023年6月7日(水)

日刊工業新聞掲載

軽量紙カップ処理機

日本シーム 10秒で洗浄・減容

【さいたま】日本シーム(埼玉県川口市、福田理也社長)は、使用済み紙カップ処理機を開発し、日本紙通商(東京都千代田区)を通じて販売を始めた。



使用済み紙カップを自動で洗浄・脱水後に押しつぶして減容化する。家庭用100ℓのコンセントに対応したほか、従来機に比べて幅を4割、重量を7割それぞれ減らした。価格は消費税抜きで350万円。コーヒーショップチェーンや食堂、イベント会場など向けに拡販する。

新開発の「CPパツクンII写真」は、飲み残しや氷を捨てたカップを投入すると10秒以内に洗浄・脱水してカップをつぶし、処理済み紙容器のストックボックスに入れる。給水タンクを備えているため、電源があれば水道が使えない屋外でも活用できる。

従来は200ℓの電源にしか対応していなかったが、100ℓ対応にすることで家庭用コンセントから電気を供給できる。カップは切断せずに押しつぶす方式にしてリサイクル性を重視した。従来機と比べて横幅は85ℓから50ℓに、重量も200kgから60kgへと小型軽量化を実現した。